

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年												2025年 1月 ~5日
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月					
カンピロバクター	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	25	57	50	39	41	50	50	37	36	2				
病原性大腸菌	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	92	79	76	83	70	86	49	46	33	1				
腸管出血性大腸菌	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	1	2	1	6	2	0	1	1	0				
サルモネラ	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	7	5	8	12	29	13	12	7	6	0				
黄色ブドウ球菌 MSSA	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	4	12	21	11	17	24	5	6	4	1				
黄色ブドウ球菌 MRSA	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	6	3	10	8	6	21	12	8	13	1				
腸炎ビブリオ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
その他	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	3	1	5	1	2	0	1	0				
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0				
アデノウイルス	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0				
ノロウイルス	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0				

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和7年第1週(12月30日~1月5日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	0	発生なし	0							
三類	0	発生なし	0							
四類	0	発生なし	0							
五類	0	発生なし	0							

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、湯田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

例年、冬休みが終わり学校が始まると流行が拡大する傾向があり、注意が必要です。手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

11月下旬から増加傾向です。全国も増加しており、注意が必要です。手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策に取り組みましょう。

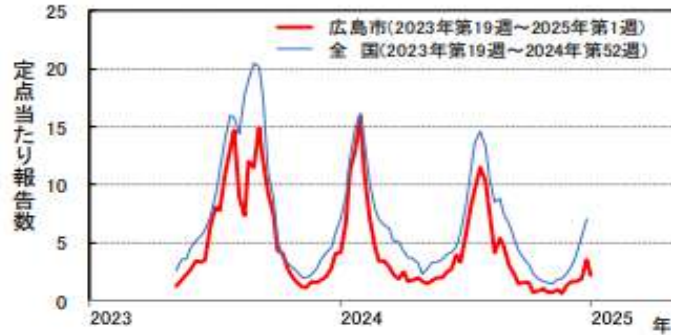
3 マイコプラズマ肺炎

多い状況が続いています。長引く咳が特徴で、感染経路は飛沫感染と接触感染です。手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

4 感染性胃腸炎

冬季はノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が増加します。感染性胃腸炎を起こすウイルスは、感染者の便や吐物に多く含まれており、飛沫や人の手などを介して経口感染します。保育園、学校、福祉施設など集団生活の場では、感染が広がりやすく、特に注意が必要です。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点点あたり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点点あたり	平均(過去5年間)	発生記号
インフル	インフルエンザ	444	18.50	4.24		小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.12	
	新型コロナ(COVID-19)	53	2.21				流行性耳下腺炎	-	-	0.01	
小児科	RSウイルス感染症	1	0.07	0.08		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	咽頭結膜熱	2	0.14	0.50			流行性角結膜炎	1	0.33	0.48	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.14	0.55		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	6	0.43	3.62			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	2	0.14	0.20			マイコプラズマ肺炎	31	5.17	0.03	
	手足口病	3	0.21	0.40			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.07	0.02			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	突発性発しん	-	-	0.11							

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定数を含む)	24
小児科定点数	14
眼科定点数	3
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点点あたり)

今週(第1週)は、年末年始の休診により、報告数が影響を受けている可能性があり、前週(第52週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

■全数把握感染症報告状況

報告はありません。